



平成 29 年 8 月 30 日

各 位

会 社 名 クロスプラス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 山本 大寛
 (コード番号 3320 東証・名証第二部)
 問 合 せ 先 取 締 役 西 垣 正 孝
 (TEL052-532-2211)

平成 30 年 1 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 値 の 修 正、
 配 当 予 想 の 修 正 (増 配) に 関 す る お 知 ら せ

当社は、最近の業績動向を踏まえて、平成 29 年 3 月 13 日に公表しました平成 30 年 1 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 及 び 通 期 連 結 業 績 予 想 値 を 修 正 し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。
 また、配当予想について、下記のとおり修正(増配)しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

- (1) 平成 30 年 1 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正
 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	29,500	△150	△100	△150	△20.49 円
今回修正予想(B)	29,272	142	218	213	29.19 円
増減額(B-A)	△227	292	318	363	—
増減率(%)	△0.8	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成 29 年 1 月 期 第 2 四 半 期)	29,348	△202	△126	△22	△3.06 円

- (2) 平成 30 年 1 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正
 (平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	66,000	1,000	1,050	850	116.15 円
今回修正予想(B)	65,300	1,050	1,200	1,000	136.65 円
増減額(B-A)	△700	50	150	150	—
増減率(%)	△1.1	5.0	14.3	17.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 1 月 期)	65,130	868	888	820	112.11 円

(3) 修正理由

第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 連 結 業 績 に つ き ま し て は、主 力 工 場 へ の 生 産 集 約 を 進 め る こ と で 原 価 低 減 に 努 め た こ と や、仕 入 販 売 管 理 の 精 度 を 高 め、在 庫 回 転 率 を 向 上 さ せ る こ と を 削 減 し た こ と 等 で 売 上 総 利 益 率 が 向 上 し、営 業 利 益、経 常 利 益、親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益 が 当 初 計 画 を 上 回 り、上 期 と し て は、9 期 ぶ り の 黒 字 化 と な る 見 込 み と な り ま し た。

通 期 の 連 結 業 績 予 想 に つ き ま し て は、上 期 業 績 を 踏 ま え、売 上 高 は 当 初 計 画 を 下 回 る も の の 営 業 利 益 に つ き ま し て は 計 画 を 上 回 る 見 込 み と な り ま し た。な お、営 業 外 収 益 に お い て、自 社 ビ ル の 賃 貸 収 入 等 の 計 上 を 見 込 ん で お り、経 常 利 益、親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益 に 関 し て も そ れ ぞ れ 計 画 を 上 回 る 見 込 み と な り ま し た。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想の修正(増配)について

(1) 修正の内容

基準日	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 29 年3月 13 日発表)	2.00	2.00	4.00
今回修正予想	3.00	3.00	6.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年1月期)	0.00	2.00	2.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営政策の一つとして位置づけ、今後の事業展開及び財務体質の強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の継続を基本方針としております。

当期の業績について、利益面は計画を上回る見通しであり、財務状況等を総合的に勘案した結果、1株当たりの剰余金の配当予想を中間で1円増配の3円、期末で1円増配の3円、あわせて年間配当金は1株当たり2円増配の6円へ修正することにいたしました。

以 上